

福井県の淡水魚類

3. ハゼ科魚類 (Gobiidae)

加藤文男

福井県の陸水域に分布するハゼ科魚類は表1に示す10種で、その形態的特徴と分布は以下のようである。

表1. 福井県の陸水域に分布するハゼ科魚類

1. <i>Tridentiger obscurus</i> (T. et S.)	チチブ
2. <i>Rhinogobius giurinus</i> (Rutter)	ゴクラクハゼ
3. <i>R. brunneus</i> (T. et S.)	ヨシノボリ
4. <i>Aboma lactipes</i> (Hilgendorf)	アシシロハゼ
5. <i>Acanthogobius flavimanus</i> (T. et S.)	マハゼ
6. <i>Glossogobius giurius</i> (Hamilton)	ウロハゼ
7. <i>Chaenogobius urotaenia</i> (Hilgendorf)	ウキゴリ
8. <i>C. laevis</i> (Steindachner)	ジュズカケハゼ
9. <i>Leucopsarion petersi</i> Hilgendorf	シロウオ
10. <i>Luciogobius guttatus</i> Gill	ミミズハゼ

(1) チチブ *Tridentiger obscurus*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVI棘、第2背鰭はI棘11軟条、眼隔部の後部に孔はない。両顎の前端はほぼ同長で、両唇には欠刻がない。両顎の最外列の歯は3尖頭、腹鰭の後方の鰭条は長く、かなり前方で腹面から遊離する。縦列鱗数は33~35で体側に暗色縦帯はみられない。体長79.5~80.0mm、三方湖で採集された2尾による(表2、図2A)。

b. 分布 北海道網走湖以南のほぼ日本全土(琉球も含む)と朝鮮に分布する(中村、1975)。福井県では九頭竜川の勝山橋と中角橋(平井ら、1972)、松岡、和田(耳川)、藤井(はす川)、高塚(北川)、湯岡(南川)、緑間(敦賀半島)、北潟湖(五十嵐、1970)、三方湖(五十嵐・加藤、1970)で確認されている(図1A)。河口付近の汽水域に多いが、上記九頭竜川の勝山橋(河口から約40km上流)のように、中流域まで分布する例もみられる。

(2) ゴ克拉クハゼ *Rhinogobius giurinus*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVI棘、第2背鰭はI棘8軟条、眼隔部の後部に孔はない。両顎の前端はほぼ同長、頭部の側面には鱗がない。吻端は鈍く尖り、上唇は厚い。腹鰭(吸盤)は前後に長いだ円形をなす。体長61.2~63.2mm、北潟湖で採集された3尾による(表2、図2B)。

b. 分 布 本州の太平洋側は利根川以西、日本海側は福井県以南、四国、九州、琉球列島、台湾、中国南部、朝鮮などに分布する（中村、1975）。福井県では北潟湖と湯岡（南川）で確認されている（図1A）。本県の隣接地域では、京都府由良川に分布する（川那部ら、1974）が、石川県（平井、1975）、富山県（田中ら、1978）には記録がない。本間（1972）は、「新潟および佐渡周辺水域のハゼ類」の中に本種をあげているが、中村（1925）の引用によるもので実物は検していないという。青柳（1957）は秋田県八郎潟以南に分布すると述べており、日本海側特に福井県以北の分布については再検討を要しよう。

(3) ヨシノボリ *R. brunneus*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVI棘、第2背鰭はI棘8軟条、眼隔部の後部に孔はない。上顎は下顎よりも前方へ突出する。頭部の側面に鱗がない。吻端は鈍く尖り、上唇は厚い。腹鰭は円形をなす。胸鰭は20～22軟条。本種は体の斑紋により種々の型に類別され（宮地ら、1976），水岡（1974）は福井県のものについて、横斑型、黒色大型、偽大型の3型を報告している。筆者はまだ斑紋について検討していない。体長59.5～92.5mm、三本木川および日野川で採集された2尾による（表2、図2C）。

b. 分 布 日本のはば全土、朝鮮、台湾の他、アジア大陸東部にも分布する（中村、1975）。福井県ではハゼ科魚類の中、最も広く分布する種で、これまでに山竹田（竹田川）、上半原・勝山橋・五松橋（平井ら、1972）、和泉村朝日・福井市上野町（九頭竜川）、武生市八幡（日野川）、糸生（越知川）、鮎川（三本木川）、五太子川、大味川、梅浦川、河野川、敦賀市山・東洋町（笙の川水系）、新庄・佐野・和田（耳川）、藤井（はす川）、大杉・上野木・若狭白石（北川水系）、竹原橋・湯岡・堂本・三重・木谷（南川水系）、石山・岡安・川上（佐分利川）、内外海半島、黒崎半島、三方湖（五十嵐・加藤、1970）で確認されている（図1A）。

近似種のカワヨシノボリ *R. flumineus*（胸鰭条数が15～17条でヨシノボリよりやや少ない）は、由良川（川那部ら、1972）、石川県（平井、1975）、富山県（田中ら、1978）、岐阜県（後藤・後藤、1971）の河川に分布するが、福井県ではこれまで全く確認されず、分布空白地になっていると思われる。

(4) アシシロハゼ *Aboma lactipes*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVII棘、第2背鰭はI棘11軟条、眼隔部の後部に孔はない。頭部に鱗がない。縦列鱗数は35。体長46.2～51.6mm、北潟湖で採集された3尾による（表2、図2D）。

b. 分 布 北海道、本州、四国、九州、朝鮮の釜山および支那大陸沿岸に分布する（中村、1975）。福井県では北潟湖で記録され（五十嵐、1970），筆者も確認した（図1A）。

(5) マハゼ *Acanthogobius flavimanus*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVII棘、第2背鰭はI棘13軟条、眼隔部の後部に孔はない。頭部の背面と側面に鱗がある。縦列鱗数は47～48。臀鰭はI棘11軟条、下顎の下面に突起はない。体

長157～158 mm、水月湖で採集された2尾による(表2、図2E)。

b. 分布 本州、四国、九州、朝鮮および支那大陸沿岸、海南島に分布する(中村、1975)。福井県では水月湖・三方湖・久々子湖(五十嵐・加藤、1970)、竹原橋(南川)で確認されている(図1A)。

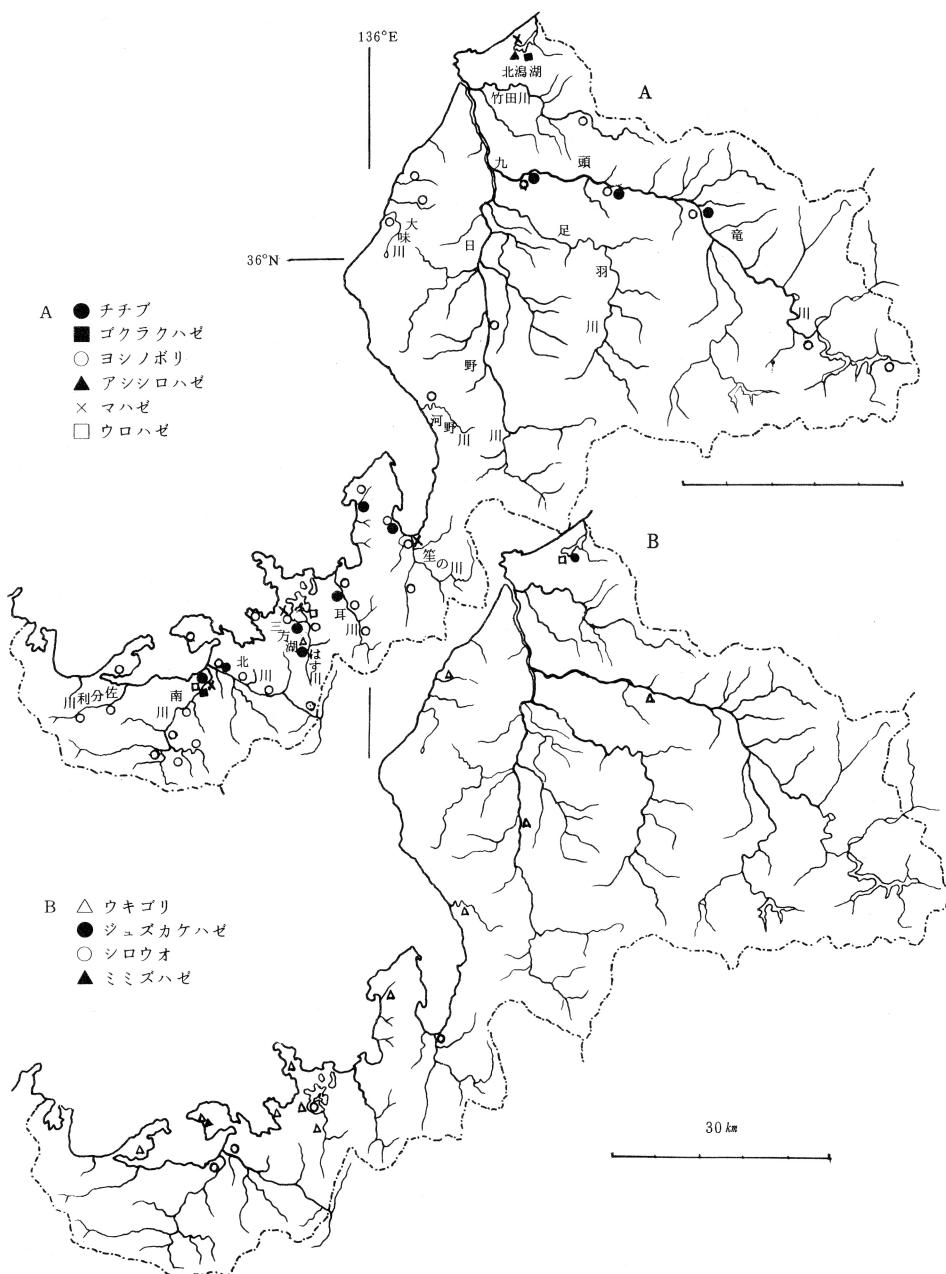


図1 福井県の陸水域に分布するハゼ科魚類

(6) ウロハゼ *Glossogobius giuris*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVI棘，第2背鰭はI棘9軟条，眼隔部の後部に孔はない。下顎は上顎よりも前方へ突出する。背鰭はI棘8軟条，舌端は2叉する。体長95～106mm，久々子湖で採集された2尾による（表2，図2F）

b. 分 布 日本（函館以南），台灣，中国南部に分布する（中村，1975）。福井県では三方湖，久々子湖，竹原橋（南川）で確認されている（図1A）。

(7) ウキゴリ *Chaenogobius urotaenia*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVI～VII棘，第2背鰭はI棘9軟条，眼隔部の後部に1対の孔がある。舌の前縁には欠刻が，体の背腹両面には鱗がある。第1背鰭の棘間の膜に欠刻はない。口はやや大きく，上顎の後端はほぼ瞳孔の後縁または眼の後縁下に達する。両顎の前端はほぼ同長。体長47.3～70.0mm，三本木川で採集された2尾による（表2，図2G）。

b. 分 布 日本のほぼ全土，朝鮮，満州，樺太およびシベリアに分布する（中村，1975）。福井県に広く分布し，三本木川，はす川，黒崎半島（釣姫川），内外海半島（水谷川）で確認されている（図1B）。

(8) ジュズカケハゼ *C. laevis*

a. 形態的特徴 第1背鰭はVII棘，第2背鰭はI棘10～11軟条，眼隔部の後部に孔がある。舌の前縁には欠刻がある。口は小さく，上顎の後端はほぼ瞳孔の前縁下に終る。下顎は上顎より僅かに前方に突出する。体側に7～8個のやや顯著な横斑がある。本種は近年までビリンゴ *C. castaneus* と混称されていたが，高木（1966）によって区別された。体長47.5～48.5mm，北潟湖で採集された3尾による（表2，図2H）。

b. 分 布 北海道および本州（太平洋側では岐阜県以東，日本海側では島根県以東）に分布する（中村，1975）。福井県では北潟湖で確認された（図1B）。なお五十嵐（1970）による北潟湖のビリンゴはジュズカケハゼに同定されるものである。近似種のビリンゴは日本，樺太，朝鮮，中国北部に分布するといわれる（中村，1975）ので，本県にも生息するものと思われるが，筆者はまだ確認していない。

(9) シロウオ *Lecopsarion petersi*

a. 形態的特徴 背鰭は1基でI棘13軟条（第1背鰭に当る部分を欠く）。鱗はない。体は細長く，頭部は縱扁していない。生時は全身透明で死後は白色不透明となる。体長40.0～40.3mm，三方湖で採集された2尾による（表2）。

b. 分 布 北海道，本州，四国，九州および朝鮮南部に分布する（中村，1975）。福井県では南川，笙の川，三方湖で確認されている（図1B）。沿海に生息し，南川では産卵期の3月頃河川に溯上する。

(10) ミミズハゼ *Luciogobius guttatus*

a. 形態的特徴 体は赤褐色で細長く、第1背鰭がない。大西幹夫氏（若狭農林高校教諭）の御好意により、内外海半島で採集された標本によって確認したが、計測はできなかった。

b. 分 布 本州、四国、九州、朝鮮、中国北部に分布する（中村、1975）。福井県では今のところ、前記内外海半島のもののみであるが、隣接地域では由良川（川那部ら、1974）、石川県（平井、1975）、富山県（田中ら、1978）で記録されている。

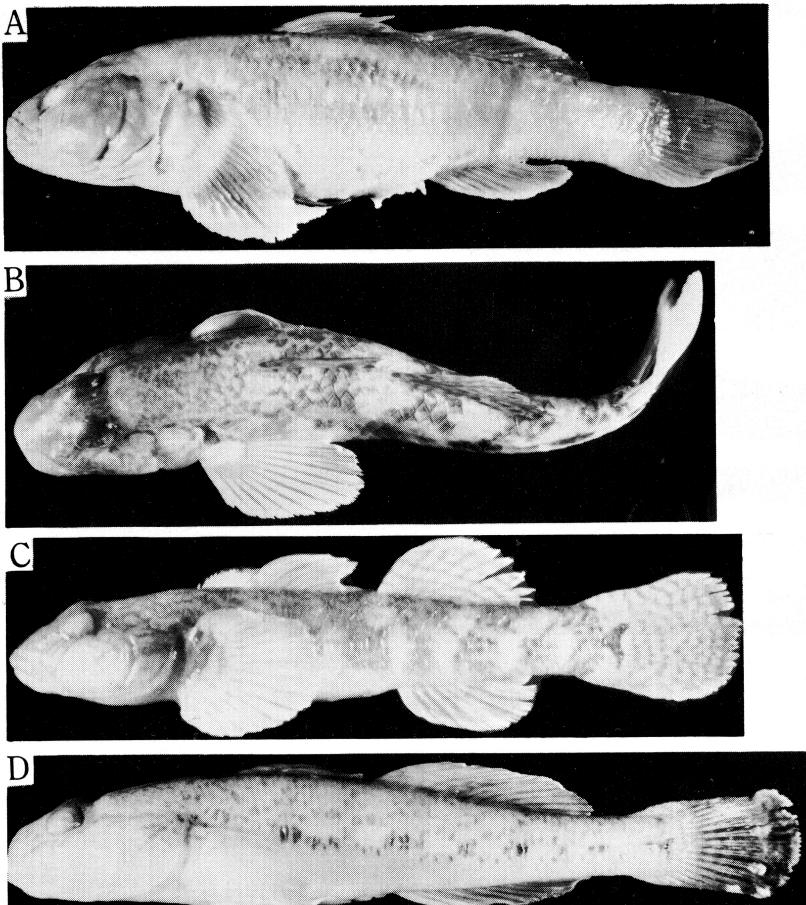


図2 福井県の陸水域に分布するハゼ科魚類

- A. チチブ *Tridentiger obscurus*
標準体長75mm, 三方湖で1965年5月12日採集
- B. ゴクラクハゼ *Rhinogobius giurinus*
標準体長61mm, 南川で1965年8月9日採集
- C. ヨシノボリ *R. brunneus*
標準体長52mm, 九頭竜川で1979年8月8日採集
- D. アシシロハゼ *A. bombylans*
標準体長51mm, 北潟湖で1962年7月6日採集

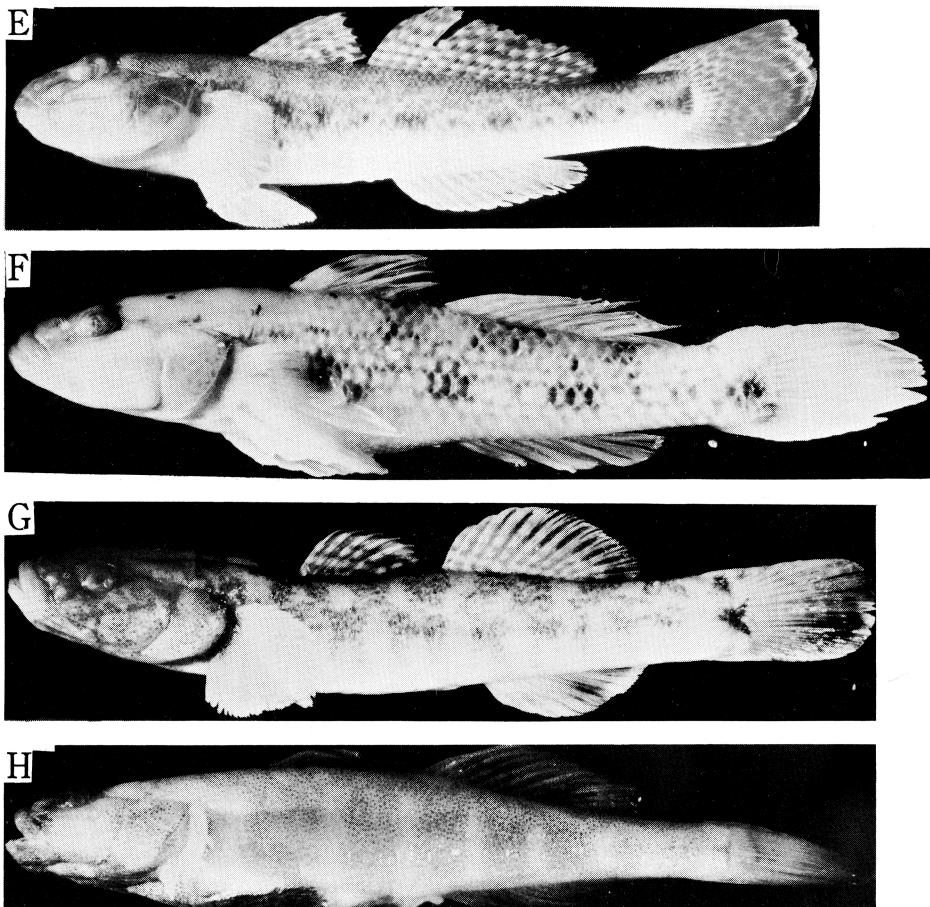


図2(つづき)

E. マハゼ *Acanthogobius flavimanus*
標準体長 86.2mm, 南川で 1979年9月14日採集

F. ウロハゼ *Glossogobius giuris*
標準体長 97mm, 久々子湖で 1965年7月20日採集

G. ウキゴリ *Chaenogobius urotania*
標準体長 64.3mm, 三本木川で 1964年8月20日採集

H. ジュズカケハゼ *C. laevis*
標準体長 48mm, 北潟湖で 1963年4月19日採集

表2. 福井県の陸水域に分布するハゼ科魚類の計測値

魚種	<i>T. obscurus</i> チチブ	<i>R. giurius</i> ゴ克拉クハゼ	<i>R. brunneus</i> ヨシノボリ	<i>A. lactipes</i> アシシロハゼ	<i>A. flavimanus</i> マハゼ
標本数	2	3	2	3	2
全長 (mm)	93.5 ~ 95.5	72.3 ~ 75.3	71.0 ~ 112.2	56.2 ~ 63.4	197 ~ 198
標準体長	79.5 ~ 80.0	61.2 ~ 63.2	59.5 ~ 92.5	46.2 ~ 51.6	157 ~ 158
体長 / 頭長	2.96 ~ 3.24	3.05 ~ 3.32	3.03 ~ 3.61	3.23 ~ 3.46	3.22 ~ 3.27
体長 / 体高	4.21 ~ 4.42	4.31 ~ 4.51	4.58 ~ 5.09	5.05 ~ 6.00	5.18 ~ 5.23
頭長 / 吻長	3.40 ~ 3.86	2.49 ~ 2.64	2.62	3.11 ~ 3.90	2.74 ~ 2.88
頭長 / 眼径	6.75 ~ 7.00	4.30 ~ 5.59	5.16	4.21 ~ 4.77	5.85 ~ 5.90
頭長 / 眼間距離	3.29 ~ 3.40	5.94 ~ 8.04	?	8.41 ~ 13.00	7.74 ~ 7.90
第1背鰭条数	VI	VI	VI	VIII	VIII
第2背鰭条数	I, 11	I, 8	I, 8	I, 10~11	I, 13
臀鰭条数	I, 9~10	I, 6~8	I, 8	I, 11	I, 11
胸鰭条数	19	17~19	20~22	17	21
腹鰭条数	I, 5	I, 5	I, 5	I, 5	I, 5
鰓耙数	11	9~10	12	10	11~12
側線鱗数	33	30	31	35	47~48
横列鱗数	13	9	9	9~10	17~18
採集地と採集日	三方湖 1965. 5. 12	北潟湖 1962. 7. 6	三本木川 1964. 8. 20 日野川 1975. 6. 14	北潟湖 1962. 7. 6	水月湖 1966. 1. 9

魚種	<i>G. giurius</i> ウロハゼ	<i>C. urotaenia</i> ウキゴリ	<i>C. laevis</i> ジュズカケハゼ	<i>L. petersi</i> シロウオ
標本数	2	3	3	2
全長 (mm)	116 ~ 131	57.3 ~ 84.0	57.5 ~ 58.5	45.5 ~ 46.2
標準体長	95 ~ 106	47.3 ~ 70.0	47.5 ~ 48.5	40.0 ~ 40.3
体長 / 頭長	3.08 ~ 3.21	3.18 ~ 3.59	3.52 ~ 3.73	4.44 ~ 4.74
体長 / 体高	4.87 ~ 5.52	4.67 ~ 5.83	4.66 ~ 4.85	8.00 ~ 8.06
頭長 / 吻長	3.24 ~ 3.47	3.14 ~ 3.88	3.77 ~ 4.06	4.50 ~ 4.72
頭長 / 眼径	5.50 ~ 5.60	5.24 ~ 5.69	4.33 ~ 4.82	6.54 ~ 7.50
頭長 / 眼間距離	6.16 ~ 6.60	4.33 ~ 4.58	8.13 ~ 13.2	4.09 ~ 4.25
第1背鰭条数	VI	VI~VII	VII	—
第2背鰭条数	I, 9~10	I, 9~11	I, 10~11	I, 13
臀鰭条数	I, 8~9	I, 9~10	I, 10	I, 15~17
胸鰭条数	18	19~20	17~18	13
腹鰭条数	I, 5	I, 5	I, 5	I, 5
鰓耙数	14~16	11~12	13~14	12
側線鱗数	31~32	?	?	?
横列鱗数	9~10	?	?	?
採集地と採集日	久々子湖 1965. 7. 20	三本木川 1964. 8. 20	北潟湖 1963. 4. 19	三方湖 1967. 4. 26

引用文獻

- 青柳兵司 1957. 日本列島産淡水魚類総説. 大修館, 東京.
- 後藤宮子・後藤正 1971. 長良川の魚相, 現状と過去との比較—水質汚濁との関係—, 日生会誌, 21(506): 254~264, figs. 1~5.
- 平井賢一・田中晋・水野信彦・須永哲夫 1972. 九頭竜川, 真名川水系の魚類. 真名川ダム漁業調査報告書, PP. 35~195.
- 平井賢一 1975. 石川県の淡水魚類. 石川の自然第1集, pp. 3~11.
- 本間義治・田村栄光 1972. 新潟および佐渡周辺水域のハゼ類. 新潟県生物教育研究会誌(8); 33~38, figs. 1~7.
- 五十嵐清・加藤文男 1970. 若狭地方の魚類および両生類, ホ乳類について. 若狭, 越前自然歩道学術調査報告書, pp. 79~106, figs. 1~13.
- 五十嵐清 1970. 「郷土教材の研究」北潟湖の魚類について. 福井県教育研究所紀要(60); 41~52, fig. 1, pl. 1.
- 川那部浩哉・丸山隆・谷田一三・富田恒男 1974. 京都府下の淡水魚. 「京都府の野生動物」, pp. 79~96.
- 水岡繁登 1974. ヨシノボリ *Rhinogobius brunneus* (T. et S.) の変異に関する研究Ⅲ 広島大学教育学部紀要, 第3部, (23): 31~40, figs. 1~2.
- 宮地伝三郎・川那部浩哉・水野信彦 1976. 原色日本淡水魚類図鑑. 保育社, 東京.
- 中村守純 1975. 原色淡水魚類検索図鑑. 北隆館, 東京.

足羽高等学校